



発行 ● 狛江市政策室  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp  
編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階A号  
☎3430-6617 FAX3430-6743  
Email=wacco@k-press.net

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。  
お問い合わせ・ご意見は狛江市政策室へ

## 文武両道の人材を育てる

### 狛江市民の願いで誘致、開校から半世紀

都立狛江高等学校は、昭和40年代に狛江市が街ぐるみで展開した誘致活動が実り、多摩水道橋近くのバラ園を東京都が買収し昭和48年に全日制普通科高校として開校した。

多摩川のほとりという恵まれた環境の中で「自主・創造・友愛」の伝統を受け継ぎ、「地球的視野を持つ、文武両道の<sup>たくま</sup>しい人材の育成」を目指している。



校舎正面

### 仮校舎でスタート

狛江高校は校舎の建設が開校に間に合わず、都立世田谷工業高等学校附属中学校跡の仮校舎でスタート、8月に新校舎に移転した。

3期生で、平成15年から8年間同窓会の会長を務めた小川啓二さんによると、当時から入学するのが難しく狛江の中学校出身者は少なかったという。雰囲気がかたかたで、部活動も先輩後輩の関係がゆるやかで、居心地良く過ごせたと話している。

### 国際理解教育に力注ぐ

教育の特色として「知」「徳」「体

生徒の約9割が部活動を活発に行っており、文化系、体育系とも多くの大会で好成績を収めている。市内で行われるイベントなどにも生徒が積極的に参加し、市民と交流を深めている。

を掲げ、学ぶ力を育みながら国際理解教育や文化・スポーツ教育を通して健全な精神と高い人間力の育成に取り組んでいる。

国際理解教育ではオーストラリアのキラウィ高校と姉妹校交流を平成元年から行っている。短期留学生24人ずつを双方がホームステイで受け入れて交流、異文化を体験する。

21年度から海外修学旅行として台湾などへ出かけている。

### 授業もイベントも充実

生徒の基礎学力の充実を図るため国語・数学・英語・理科・社会を中心としたカリキュラムを編成



▷ 2 ◁

## 都立狛江高等学校

元和泉3-9-1  
細野誠治校長、教職員66人、全日制普通科、生徒25学級992人、卒業生約18,100人  
敷地34,773㎡、校舎＝鉄筋コンクリート造り5階建て（普通教室25室、特別教室16室）  
(4月1日現在)

するほか、平成20年度から土曜授業を年間17回行っている。長期休みには補習授業も実施する。

学校行事も盛んで「公孫樹祭」と名づけた文化祭と体育祭は同校最大のイベント。9月の文化祭は2日間にわたって文化部の発表や各クラスが趣向を凝らした企画を繰り広げる。5月には体育祭、2月には合唱祭が開かれる。

3月中旬に卒業生が進学体験を在校生に話す会を開いている。



富士山と多摩川が見える窓は生徒会の役員たちもお気に入り

### 好成績あげる部活動

部活動は、運動部がバスケットボール（男女）、バレーボール（男女）、剣道、サッカー（男女）、硬式野球、ダンス、バドミントン、硬式テニス（男女）、陸上競技、ラグビー、水泳、ソフトテニス、卓球、文化部がパソコン、サイエンス、軽音楽、漫画研究、英語研究、合唱、弦楽合奏、美術、華道、茶道、箏曲、吹奏楽、JRC（日本青少年赤十字）があり、熱心に活動している。

男子サッカー部は「東京で一番応援され、周りに勇気を与えられるチーム」をモットーに高円宮杯JFA U-18サッカーリーグ東京のT3部への昇格を目指している。

女子サッカー部は、東京都高校女子1部リーグで令和3・4年度は優勝、昨年度は3位。「常勝！常笑！上昇！」をモットーにして

### 地域との交流深める

○イベント参加＝市内唯一の高校として多くのイベントに参加している。桜まつりに軽音楽部、弦楽合奏部、古代カップ多摩川いかだレースの審査員として生徒会役員、むいから民家園や国際交流協会のイベントなどに箏曲部が参加している。このほか、市民まつりに茶道部やラグビー部、マラソンフェスティバルに陸上部、交通安全運動にJRC部員などが協力している。

○体験授業＝狛江第三中学校の2年生が来校して高校の授業を体験しており、中学生に好評だ。

○制服リサイクル＝PTAが制服やワイシャツなどを文化祭でリサ



体験授業

いる。

硬式野球部は、西東京大会ベスト4が目標で、大会ごとに目標を決めてステップアップを図る。少年野球教室を開いている。

箏曲部は全国大会に数多く出場し、これまでに文化庁長官賞など多くの賞を獲得、市内在住の演奏家や卒業生の指導を受け、全国大会1位の文部科学大臣賞を目指している。

ダンス部は毎年、全国大会に出場し高校ストリートダンスグランプリ2023準優勝、マイナビHIGH SCHOOL DANCE COMPETITION 2023 EAST vol.3準優勝など多くの大会で好成績を収め、外部コーチや卒業生の指導を受けながら優勝を目指している。ダンス部を目標に同校を志望する生徒も多い。

また、各部とも中学生向けに部活の体験を受け付けている。

イクル販売し好評。

○いちょう会＝PTAの元会員で構成し、学校の発展と相互の親睦、全国大会などに出場する部活の応援などを目的に活動している。公孫樹祭で会員が協力してバザーを行い、福祉活動の支援などを行っている。

### わたしの狛高

#### 生徒は何ごとにも活発

#### 生徒会役員から

文武両道がモットーで、部活をはじめ文化祭など生徒は何ごとにも活発です。国際交流に力を入れていて、英語に強く、イタリアからの留学生もいて国際色豊かです。

上下関係が厳しくないのもうれしいです。

多摩川が見える4階の踊り場、校門横の植栽にあるベンチが人気スポットです。



男子サッカー部



女子サッカー部



硬式野球部



箏曲部



ダンス部

元・狛高生から

### 勉強に恋に部活に充実

フリーアナウンサー 笠井信輔さん



自由な校風。多摩川の川べりという環境の良さ。そよ風に吹かれながらの高校生活は、勉強に恋に部活に充実した季節でした。

私がアナウンサーになれたのも、3年担任の「夢をあきらめな。笠井は大学に行くよりTVに出ることを考える」という進路指導があったからこそです。生徒の長所を見極めてくださった先生方には感謝しています。

そう言えば、カップルで多摩川の手漕ぎボートに乗ると破局するというジンクスがありました。

〈プロフィール〉昭和38年世田谷区生まれ。54年狛江高校入学、62年フジテレビ入社、アナウンサーとして数多くの番組を手がけ、令和元年からフリー。